



完成した勾玉ペンダントを持って指導員岡村氏(右)とパチリ!

## 石川で、野々市で、夏の思い出作り

### 第37回 JAPAN TENT

日本で学ぶ世界各国の留学生が県内10の市町でホームステイし、各地の文化や風土を体感する「第37回 JAPAN TENT」が、8月22日(木)～25日(日)に開催されました。本市には7人の留学生が滞在。2日目の23日(金)はふるさと歴史館で勾玉作りを体験しました。全員が初挑戦でしたが、苦戦しながらも職員の説明を受け、なんとか時間内に完成。出来上がった勾玉のペンダントを身に付け、留学生同士でうれしそうに笑っていました。

## 子どもも大人も一緒に楽しむ

### のいちカレード ボードゲーム体験会

学びの杜ののいち カレードで8月24日(土)、ボードゲーム体験会が開催されました。ボードゲームとは、テーブル上で遊ぶゲームの総称。体験会は4年ぶりの開催です。会場では、数字の書いたカードを出し合い「単独で一番大きな数字」を出すことを目指す「ハゲタカのえじき」や、たくさんの宝石が乗った箱をハンマーで叩いて狙った色の宝石を落とす「宝石ゴンゴン」などをプレイ。参加した9人は、コミュニケーションを取りながら本場ドイツのゲームを楽しみました。



「上手!」「強く叩きすぎた……」と自然に会話が生まれます。



大和リース(株)共催、県視覚障害者協会の協力で開催されました。

## 全ての人に落語の楽しみを

### ユニバーサルデザイン落語

8月25日(日)に学びの杜ののいち カレードで、落語家・春風亭昇吉師匠によるユニバーサルデザイン落語が開催されました。古典落語『まんじゅうこわい』の実演後、話の中に登場した物の模型を目隠しをして触り、それを当てるゲームを実施。昇吉氏が来場者に尋ねて回り、正解するたびに場内から拍手が起こりました。「健常者も目が不自由な人も皆で落語を楽しんでほしい」と語る昇吉氏。その思いが届いたかのように、会場は来場者の笑顔で溢れていました。

## 学ぶことで周囲の人を守ろう

### 認知症サポーター養成講座

認知症の人やその家族を温かく見守り応援する「認知症サポーター」の養成講座が、9月12日(木)に市役所で開催されました。認知症について学んだ後、認知症の人と遭遇した場面を想定し参加者は意見を共有。講師の地域包括支援センター職員は、気を付けるべき対応の共通点を「驚かせない・急がせない・自尊心を傷つけない」とし、「認知症の人はこれまでできていたことができなくなり「困っている人」と捉え、周囲の適切な対応が大切」と心得を説きました。



認知症サポーターステップアップ研修も開催予定です。

# まちの話題 Focus

皆さんの周りの楽しい話題やイベントなどの情報を教えてください。  
市民協働課 ☎227-6056

## いつもと違う景色に出会える

### てくてく歩こう! のいちウォーキング

市民が交流しながら市内を歩き、健康の増進を図る「てくてく歩こう! のいちウォーキング」が9月1日(日)に行われました。ツエーゲン金沢の廣井友信クラブキャプテン、金沢武士団の酒井達晶選手や花田唯翔選手などと一緒に野々市中央公園を出発し、市役所を経由する約3kmのコースを歩きました。90人の参加者は、会話を弾ませながらおよそ1時間かけてウォーキングを楽しんでいました。

ウォーキングの後は、廣井氏、酒井選手および花田選手が講師となって、小学生を対象としたサッカー教室とバスケットボール教室を開催。プロスポーツチームのコーチや選手と一緒に練習できるまたとない機会に、参加者は一つ一つのプレーに真剣に取り組んでいました。



酒井選手(右、野々市市出身)と談笑しながら出発!



花田選手(中央上)と撮影会。

時折秋を感じる風が吹くウォーキング目利でした。



守備を突破できるかな?

必死にボールを取りに行きます。

## 音楽に合わせて動いてみよう

### 親子でリトミック

なごみこども園で8月20日(火)に親子でリトミックが開催されました。リトミックとは、音楽に合わせて体を動かし、集中力や表現力などを養う音楽教育法です。子どもたちが頭に布をかぶり、曲調に合わせて素早く布を取るという遊びでは、そのスピード感に子どもたちは大喜び。また、童謡『どんぐりころころ』のリズムに合わせて親子で歩き、体を揺らして楽しみました。この日は20組を超える親子が参加し、体を動かすにつれて自然と笑顔がこぼれていました。



音楽に合わせて布を上下させます。布の中はどんな世界?

## 凝らない姿勢 ほぐす体操

### 育児期のマイナートラブルのコントロール

8月21日(水)、子育てサポート団体「☆Mady's Land ☆」が企画する子育て講座がなごみこども園で開催され、0～3歳児の保護者など5組7人が参加しました。講師は、同園に通う子の保護者でもある理学療法士・都志和美氏が務めます。まずは、抱っこや授乳時などの理想的な育児姿勢や負担が少ない方法を紹介。その後、呼吸と姿勢を意識したストレッチを伝授しました。参加者は「知らず知らずに姿勢が崩れていたと気付いた。家でもストレッチを続けたい」と話しました。



理想的な抱っこの方法を教わり、さっそく実践します。